



香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町五丁目1番29号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp>



収穫を待つ小原紅早生（坂出市青海町）

目次

- 1. 第44回全国土地改良大会沖縄大会開催 2~3
- 2. この道一筋秋の叙勲／農業農村整備事業に関する意見交換会開催 4
- 3. 令和4年度土地改良区役職員研修会開催 5
- 4. 鳥インフルエンザ再発防止ため池消毒実施 6
- 5. 令和4年度土地改良施設整備補修事例検討会開催 7
- 6. 令和4年度換地計画実務研修会開催／会と催し 8

第44回全国土地改良大会沖縄大会開催

「^{ひら}水土里の拓く^ゆみる^なく世を鳴らし^{くに}とうゆまし守禮の邦から」

(みるく世：平和で豊かな世の中 鳴らし：発信しよう とうゆまし：響かせよう)



11月22日、沖縄県沖縄市の沖縄アリーナにおいて、第44回全国土地改良大会が開催された。この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、新たな農業の展開方向に即して、改めて農業農村整備の使命を再認識し、関係者の総力を挙げて我が国の農業・農村をさらに発展させることを目的に開催されている。

今年、本土復帰50周年となる沖縄で「水土里の拓くみるく世を鳴らしとうゆまし守禮の邦から」をテーマに開催され、全国各地から土地改良関係者約2,300名が参加した。

式典は、開催地である沖縄県土地改良事業団体連合会の古謝景春会長の大会旗入場で始まり、主催者を代表して全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長から「闘う土地改良を旗印に皆様方の奮起で予算が回復してきた。皆様方の協力を得ながら今後も日本の農業を守っていくつもりである。」と挨拶があった。続いて、玉城デニー沖縄県知事及び桑江朝千夫沖縄市長から歓迎の挨拶、さらに、勝俣孝明農林水産副大臣及び都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員他から祝辞が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名が表彰され、本県からは、観音寺市高室土地改良区の森川光典理事長が農林水産省農村振興局長表彰を受賞された。また、高松市庵治町土地改良区の新上隆司理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰を受賞された。



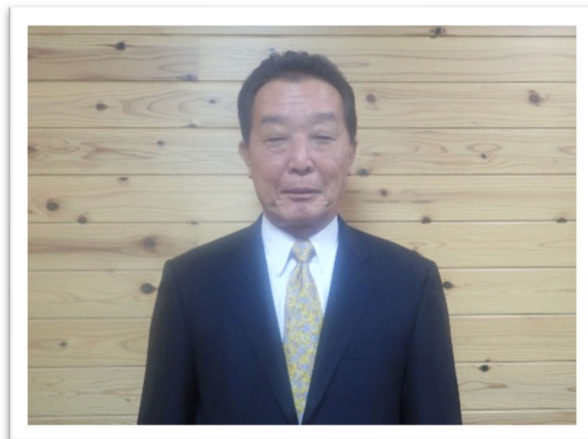
沖縄県土地改良事業団体連合会古謝景春会長



全国土地改良事業団体連合会二階俊博会長



農林水産省農村振興局長長表彰
観音寺市高室土地改良区 森川光典理事長



全国土地改良事業団体連合会長表彰
高松市庵治町土地改良区 新上隆司理事長

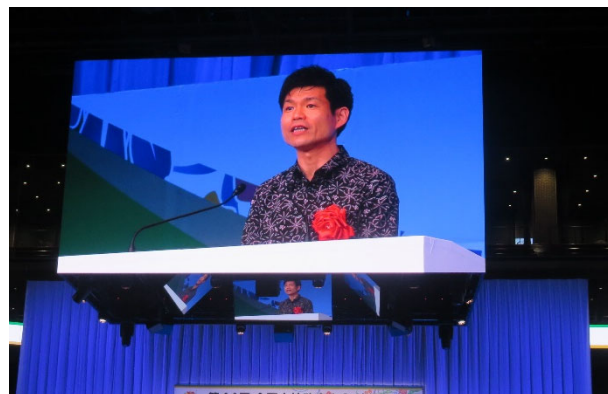
引き続き、農林水産省の安部伸治農村振興局次長から「夢（いみ）をつなぐ土地改良」と題して基調講演が行われた。その後、土地改良事業優良事例地区紹介があり、農業生産法人(有)大嶺ファーム土地登代表取締役、瀬名波土地改良区当山眞市理事長からそれぞれ説明があった。

また、沖縄県土地改良事業団体連合会の職員2名が、「持続的な農業・農村を可能にするため、水・土・里を守り引き継ぐ」を合い言葉に、本土復帰50年を迎えた沖縄から全国に向けて高らかに大会宣言された。

最後に次期開催県である福井県土地改良事業団体連合会の山崎正昭会長へと大会旗が引き継がれた後、挨拶があり、沖縄県土地改良事業団体連合会の知念武副会長の閉会の挨拶をもって、大会は盛会裏に閉会した。



歓迎の言葉を述べる玉城デニー沖縄県知事



祝辞を述べる勝俣孝明農林水産副大臣



祝辞を述べる進藤金日子参議院議員



祝辞を述べる山崎正昭参議院議員

この道一筋 秋の叙勲

11月3日、2022年秋の叙勲受章者が発表された。県関係は、県内在住者65名と県外在住者10名の計75名が榮譽に輝いた。

このうち地方自治功勞として、白鳥土地改良区理事長の田中孝博氏(70歳)が、旭日双光章を受章された。

白鳥土地改良区理事長の田中孝博氏は、昭和60年3月に白鳥町土地改良区理事に就任、平成16年9月より香川用水土地改良区理事に就任、平成18年3月からは、推されて理事長に就任し、土地改良事業に大きく貢献されただけでなく、白鳥町議会議員、東かがわ市議会議員として永きにわたり、執行機関と協力しあい、議会の円滑な運営に尽くされた。

土地改良区の発展と土地改良事業の推進にご尽力いただき弛みない努力に敬意を表し、今後とも益々お元氣でご活躍されることをご期待申し上げます。



白鳥土地改良区
理事長 田中孝博氏

農業農村整備事業等に関する意見交換会開催

11月7日、高松市のレクザムホールの会議室において、農林水産省による令和5年度概算要求の趣旨等の説明及びそれに伴う意見交換会が行われ、国、県、土地改良区役員等30名が出席した。

冒頭、北田農林水産省農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室長より開会の挨拶があった後、本会大山会長の挨拶、その後、北田室長より予算等に係る説明が行われた。

続いて意見交換会では、本会組橋副会長から、意見交換会開催のお礼と小規模土地改良区の統合整備再編事業の補助要件緩和を要望。香川県内場池土地改良区三笠理事長は、都市化・混住化する農村地域の農業用水路の管理者や所有者の維持管理上の役割状況等についての確認があり、四箇池土地改良区宮本理事長は、過去に土地改良事業で改修した河川堰の地元負担の軽減を要望。香川用水土地改良区五所野尾理事長は、香川用水二期地区の推進についての感謝と令和5年度の事業予算確保を要望。坂出市江尻土地改良区前川理事長は、地元から大変高評価を得ている多面的機能支払交付金の更なる予算確保等を要望。香川県三豊市三野町土地改良区齋藤理事長は、多面的機能支払交付金の長寿命化対策の事業費の上限緩和と所有者不明土地対策の法制化を要望し、その後、大山会長が総括を行うなど、県内の農業の発展、農村の整備についての課題克服に向けた活発な意見交換が行われた。



挨拶される北田海外土地改良技術室長



説明会の模様

令和4年度土地改良区役職員研修会開催

11月10日、令和4年度土地改良区役職員研修会を丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて開催した。

この研修会は、土地改良推進事業の一環として、土地改良区の健全な組織運営等を目的に毎年開催しており、研修では、令和5年10月から始まるインボイス制度をはじめ、土地の管理・利用のために必要な合意形成が困難となっている所有者不明土地の解消に向けた民事基本法制の見直しなどを内容とするとともに、今年度は、午後から香川県土地改良区運営基盤強化協議会及び全国水土里ネットの共催で、全国土地改良事業団体連合会の室本隆司専務理事による土地改良団体における男女共同参画についての研修などを行った。研修会には、土地改良区の役職員等102名が参加し、熱心に耳を傾けていた。

また、研修会終了後、女性理事を登用している土地改良区や登用を計画している土地改良区の役職員に参加いただき、女性理事登用に向けた取組について意見交換を行った。



香川県農地機構事業課 大西課長



内橋公認会計士



中国四国農政局農村振興部土地改良管理課
川嶋課長



全国土地改良事業団体連合会 室本専務理事

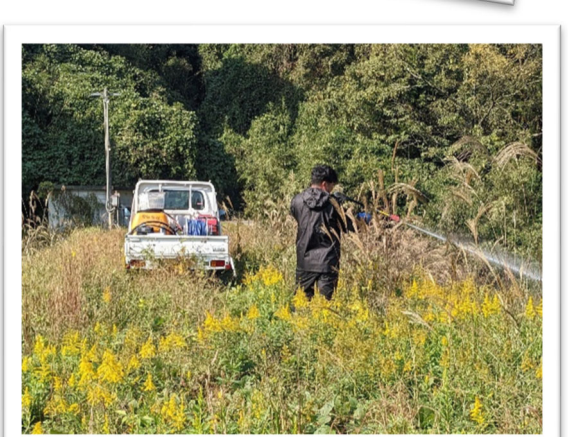
研 修 科 目	講 師
農地中間管理事業について	公益財団法人香川県農地機構事業課 課長 大西 智司
インボイス制度について	内橋公認会計士事務所 公認会計士 内橋 翔
みんなで築こう人権尊重社会 ～正しく知る人権感覚を磨く～	香川県総務部人権・同和政策課 参事 雨霧 壽男
所有者不明土地関連法の改正等について	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 課長 川嶋 等
土地改良団体における男女共同参画の意義、基本事項、事例紹介について	全国土地改良事業団体連合会 専務理事 室本 隆司
手引きの使い方について	全国土地改良事業団体連合会 専務理事 室本 隆司
男女共同参画の実現に向けて	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 課長 川嶋 等

鳥インフルエンザ再発防止 ため池消毒実施

観音寺市の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザの発生を受け、再発防止のため、県からの委託により「ため池サポートセンター」が、1例目に対しては11月9日から2週間、また2・3例目に対しては28日から2週間の予定で発生農場周辺のため池の消毒作業を実施した。

消毒は、発生した農場の半径3km以内にあるため池のうち、渡り鳥が飛来する可能性が高く、近くに養鶏場がある13箇所のため池について実施し、水生生物への影響などを考慮して外側の法面だけにホースを使い消毒液を散布した。

11月1日の1例目の発生に続き、22日に2例目、23日に3例目の発生が確認されており、今後も、県の再発防止計画に従い消毒作業を実施し、再発を防げるよう協力を行いたい。



ため池の消毒状況

令和4年度土地改良施設整備補修事例検討会開催

11月17日から18日にかけて全土連中央土地改良管理指導センター主催の令和4年度土地改良施設の整備補修事例検討会が開催された。本検討会は中国・四国地区管内の土地改良施設維持管理適正化事業で実施した整備補修事例を発表し、内容を検討することにより整備補修事業に対する知識と技術力の向上を目的として毎年、管内の県土連が持ち回りで実施している。今年は鳥取県土地改良事業団体連合会の担当により鳥取県鳥取市の白兔会館（飛翔の間）において事例検討が行われ、中国四国農政局、全土連、各県、県土連の関係者27名が参加して行われた。

今回事例を発表したのは広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県の5県で、それぞれ30分程度で事例の説明と質疑を行った。事例検討の結果、広島県と山口県が全国発表の事例として選ばれた。

●各県の事例●

広島県	手動スピンドル単式鋼製スライドゲートをワイヤーロープ式鋼製起伏ゲートに変更整備して管理労力の負担軽減を図った事例
山口県	定期・計画的な整備補修等を実施している事例（揚水機場）
徳島県	既設水路に表面被覆工を実施し水路の機能保全を図った事例
香川県	ため池の浚渫土を近傍のほ場整備事業に流用し工事費を削減した事例
愛媛県	鋼製スライドゲートの巻き上げ機をジャッキ式から巻き上げ式に更新し作業の効率化を図った事例

また翌日は現地検討会が行われ、鳥取県が事業主体の農村地域防災減災事業（鳥取県倉吉市 北条用水地区）及び北条砂丘土地改良区が取り組んでいる灌漑事業の説明を受けた。北条用水は昭和20年代に施工された無筋コンクリートの水路で、近年の混住化の進行に伴い、用水路沿線に住宅や道路が建設され、老朽化や地震に伴う深刻な被害が想定されている。このため、事業により鉄筋コンクリート水路に改修し地震被害の防止等を図っている。



主催者挨拶（全土連 佐々木倫子主任）



現地検討会（北条用水地区）

令和4年度換地計画実務研修会開催



主催者挨拶

11月17日、香川用水記念会館多目的室において、土地改良区体制強化事業の受益農地管理強化対策の一環として、令和4年度換地計画実務研修会を開催した。この研修会は、換地技術の強化をはじめ、換地事務の円滑な推進や換地業務等に関する知識の向上を目的に開催している。

換地理論、民法及び不動産登記法の改正、農業者年金制度等4科目の研修が行われ、県、市町、土地改良区の職員や新規地区推進委員など49名が受講した。多くの質疑応答がなされ、有意義な研修会となった。

研修科目	講師
換地理論	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 農地集団化係長 溝口 祐子
土地改良法の概要について	香川県土地改良事業団体連合会三豊支所 支所次長 松宮 公子
民法及び不動産登記法の改正	高松法務局民事行政部不動産登記部門 統括登記官 大久保 貴裕 統括登記官 片岡 昌司
農業者年金制度について	一般社団法人 香川県農業会議 総務課長 丸山 和伸



研修会の様子

会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
11月14日	世界かんがい施設遺産の効果的な活用のための情報発信に関する研修会 (WEB)	高松市
11月16日	非補助土地改良等融資拡大担当者会	高松市
11月17日	令和4年度換地計画実務研修会	高松市
11月17日 ～18日	令和4年度土地改良施設の整備補修事例検討会及び現地検討会	鳥取県
11月18日	令和4年度農業農村整備優良地区コンクール選定審査会	土庄町
11月22日 ～23日	第44回全国土地改良大会沖縄大会	沖縄県
11月30日	土地改良区会計に関する相談	高松市
12月8日	中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	岡山県
12月8日	小豆郡土地改良事業推進協議会第1回研修会	小豆島町